



# 印西ダイバーシティ

2024 秋号

## 活動レポート Vol.3

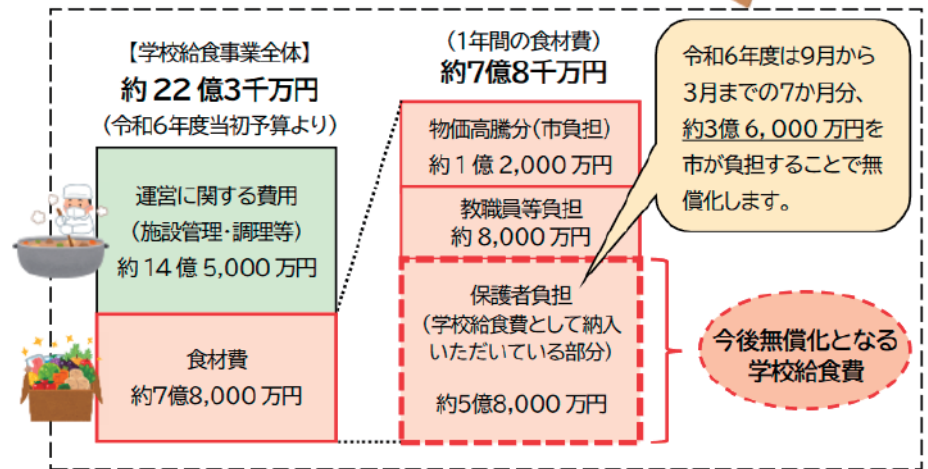
会派代表 加藤りょうじ  
(印西市議会議員)

### 印西市立小中学校において 学校給食の完全無償化がスタート!

印西市では令和4年9月より第3子以降のみに学校給食費の補助金が交付されていましたが、令和6年9月から、印西市立小中学校の全生徒の学校給食費が無償化となりました。今回の無償化に伴う手続き等は必要ありません。

子育て世代のご家庭の経済的負担を軽減し、印西市全体で子育てしやすい環境を整えていくことは必須と考えます。印西市民の誰もが取り残されることなく暮らしやすい環境をつくるために、これからも市議会議員として日々の活動に励んでまいります。

#### 学校給食の提供に要する費用について



(資料：印西市教育委員会学校給食課)

## 9月議会(令和6年第3回定例会)の注目トピック

藤代健吾市長誕生

決算審査特別委員会の開催

加藤りょうじの一般質問

### 藤代健吾(ふじしろけんご)市長誕生

#### 【新市長就任とその展望】

この7月、印西市は新たな政治の局面を迎えました。藤代健吾氏が新市長として選ばれ、これまでの政策に新しい視点を加え、街の活性化と市民生活の質向上を目指す公約を掲げています。私も、市政の方向性を示すこれらの政策を積極的に評価し、その実現に向けて前向きに取り組んでいきたいと考えています。

一方で、市議会議員としての役割は、市民を代表し、市長が推進する政策が本当に市民生活の向上につながるかを厳正に見極めることにあります。二代表制のもと、適切な距離感を保ちながら「必要な提案は支援し、改善が必要な点には率直に意見を述べる」ことを原則とし、皆様の生活がより良いものとなるよう、今後も議会議員としてチェック機能をしっかり果たしていきたいと思います。

#### 【副市長2名体制導入の実施計画に対する意見と提案】

印西市では、市政運営のさらなる効率化を目指し、新たに副市長2名体制を導入する計画が進行しています。藤代市長による方針説明を受け、私はこの取り組みを支持しつつも、いくつかの具体的な懸念点を指摘し、改善案を提案いたしました。

現在の印西市の行政組織は縦割り構造が根強く、新たな政策を推進する際に部門間の調整がスムーズに進まず、計画が停滞するケースが少なくありません。この点を踏まえ、副市長増員にあたっては、部門間の連携を強化し、縦割りの弊害を克服しながら、課題をまとめ上げるマネジメント力とリーダーシップを備えた人物が必要です。本当にこのような人材が確保できるのか、疑問を呈しました。

さらに、業務量と残業問題も重要な課題です。現在、職員は多忙を極め、残業が常態化しています。この状況に加えて新たな施策が実施され

る場合、職員の負担がさらに増大することが予想されます。これを避けるためにも、現行業務の改善や効率化が副市長増員の必須要件であることを提案しました。市政の実効性を高め、現場職員への負担を軽減するためにも、副市長2名体制導入に際してこれらの課題解決が不可欠であると考えます。

この点に対し、市長も業務効率化の重要性に理解を示し、新たな副市長の選任方法について「具体的な候補はまだ決まっていないが、広く適任者を募り、公募も含めて検討している」と回答しました。市長のこの回答から、柔軟な人材選定によって優れた人材を迎えることを期待し、今後の人選と体制整備を、引き続き注視してまいります。

## 印西ダイバーシティ主催 市政報告 & まちづくり相談会

日時: 11月24日(日) 13:30~15:30  
(受付開始13:00)

場所: 小林コミュニティプラザ  
集会室2 (1階)  
印西市小林北5丁目1番6号



印西市議会中継より

参加費無料(要予約)

ご予約は、ホームページまたは  
070-8538-8404にて受付中!  
(加藤りょうじ事務所)





# 決算審査特別委員会の開催(9/6,9~11)

## 【令和5年度決算の概要】

9月に開催された決算審査特別委員会では、令和5年度の印西市の財政状況について審査が行われました。今回の決算は、印西市の今後の財政運営にとって重要な指標を示しており、特に歳入・歳出の増加や、地方債の状況について注目されました。ここでは、主要なポイントについて簡単にご説明いたします。



## 【歳入と歳出の状況】

令和5年度の歳入総額は約529億円、歳出総額は約494億円で、前年度と比較して、それぞれ5.6%および5.8%の増加となりました。この増加の主な要因としては、**市税収入の増加**や**地方債の増加**が挙げられます。



### 1. 市税収入の増加

市税収入は、対前年度比16.9%増の約273億円となり、特に個人市民税や固定資産税が増加しました。これは、企業進出や人口増加が背景にあり、市の経済基盤が強固になっていることを示しています。

### 2. 地方債の増加

一方、地方債(市の借入金)は、学校給食センター整備事業や新たな複

合施設整備事業のため、42.5%増加しました。この投資は市の将来の公共インフラを整備するために必要なもので、長期的な市の発展に寄与することを示すものです。

## 【財政の健全性と課題】



市の財政指標を見てみると、令和5年度も引き続き健全な財政運営が行われています。**経常収支比率は79.5%**で、前年度よりも改善しており、市の収入が支出をしっかりとカバーしている状況です。また、**財政力指数も1.06**と安定しており、他の自治体と比較しても財政的に自立した市であることが確認できます。

しかし、今後は扶助費(住民への支援費)や物件費(市の運営に必要な費用)の増加も予想されており、効率的な財政運営が求められます。特に、今後の大規模な公共事業に向けて、地方債の返済計画や、新たな財源の確保が重要な課題となるでしょう。

## 【まとめ】

今回の決算を通じて明らかになったのは、印西市が着実に成長を遂げている一方で、**長期的視点での財政運営が一層重要**だということです。市民の皆様にとって住みやすい町づくりを進めながら、持続可能な財政を維持していくため、今後も活動に取り組んでまいります。

印西市議会  
議会中継

加藤りょうじ  
一般質問  
(9月)



# 9月議会(令和6年第3回定例会)

# 加藤りょうじ一般質問(概要)

## 藤代市長の政策公約について

藤代市長が掲げた政策公約を、今後どのように市政に反映させていくのか、一般質問で確認しました。藤代市長の政策は、市民の生活向上を目指し、さまざまな分野において具体的な施策が提示されています。その中でも、私が特に注目している政策について、どこまで実効性のあるものとなっているのか、その真意と詳細について質問しました。本紙面では、その一部のみを取り上げますが、質問の全容については「印西市議会 議会中継」(表題右QRコード)にてご覧いただけます。

### ▶ 大規模校の分離新設を含む学習環境の改善

まず、教育長からは、**原小学校においては分離新設を視野に入れ、課題整理を進めていく**との回答がありました。また、私は、新校舎建設に際しては、特に、医療的ケアが必要な児童も通える「**インクルーシブ教育**」に対応した新校舎設計の必要性を提案しました。市長からは、インクルーシブ教育に配慮し、検討していきたいとの答弁がありました。さらに、**長期的な施設活用を視野に入れ、公共施設として多様な用途に転用できるような設計も必要**であると提案しました。

### ▶ 支援学級における人員配置強化

特別支援学級に在籍する児童数が増加傾向にあり、個別のニーズに対応するための教職員確保が重要な課題となっています。教育長からは、**近隣大学との連携や採用条件の見直しを通じて、優秀な人材の確保に努める**との回答がありました。私は、さらに積極的な人材確保のための新たな方策も求めました。

### ▶ 医療的ケアが必要な児童やその家族に対する支援強化

市長は、市民の声に寄り添いながら、千葉県とも連携しながら切れ目の無い支援をしっかりと進める考えを示しました。私は、こうした姿勢が印西市の福祉水準向上に寄与することを大いに期待し、**医療的ケア児とそのご家族が安心して暮らせる街づくりに一層力を入れていく**ことを求めました。

### ▶ デマンドタクシー(予約制乗合タクシー)やライドシェアの導入

交通不便地域において、これらの新たな移動手段が重要な役割を果たすとの認識のもと、市長は、導入地域を今後選定し、より利便性の高い公共交通を構築していく考えを示しました。しかしながら、私は、市長のこの取り組み方では、**何年経っても市内の交通利便性は改善されない**のではないかと危機感を感じています。私は、「**自動運転のような技術進歩を期待して待つのではなく、他自治体等の先進事例を参考にし、今困っている人たちのためにも、今の技術で実現出来るもの、且つ、市の体力的にも見合った施策を、市長自らが強力なリーダーシップをとって早急に進めていただきたい**」と強調して求めました。

### ▶ 想定を超える災害を前提にしたシナリオの見直し

市長は、専門家の協力を得て、より効果的な災害対応計画を進める意向を示しましたが、まだ具体的な施策のイメージには至っていないように感じました。そこで私は、各地区に適した対策を整え、防災の専門知識を持つリーダーの配置が必要であると提案しました。たとえば、白井市では「**危機管理官**」を防災リーダーとして配置し、地域ごとの地理や人口密度をもとにリスクデータをまとめ、それに基づいて防災計画を立てています。このような例を参考にしながら、市民の安全を守るために強力な防災体制の整備されることを強く求めました。

### ▶ 世界で戦える産業の誘致

なぜこのような産業誘致が印西市にとって重要なのか、その理由を質問し、これにより雇用の創出や地域の経済活性化が期待できるとの市長の見解を得ました。私は、**本質的に市民の利益にもつなげる産業の誘致、特に、市民の生活面や環境面、地域経済の発展を最優先に考えたうえで産業の誘致、そして、商業施設の充実や市民との交流の場を提供する企業の誘致**というものを積極的に進めてほしいと求めました。

### ▶ 新規就農者と農業者のマッチング支援

農業従事者の不足が課題となる中、農地の賃貸借や農業版ハローワーク事業を通じて、農業従事者のマッチング支援が行われていることが確認されましたが、私はさらに**農業を本格的に始める方々の経営安定と持続可能な成長のための支援強化が必要**であると訴えました。

### ▶ 専門性を育てる人事配置・人事評価制度の見直し

市長は、DX、防災、都市計画などの専門分野に職員を配置し、外部出向やキャリアアップを支援して、専門性の高い職員を育成する方針を示しました。しかし、これらの説明は、現状の人事制度に少し手を加える程度の案として示されたものでした。私は、今の印西市役所がレベルアップするためには、「**業務効率化**」「**スピード感のある業務遂行**」「**市民目線のサービス**」「**職員のやる気**」などが重要な課題であると考えます。専門性を深めることは大事ですが、同時に**職員が失敗を恐れずに挑戦できる環境を整備**することも、職員の業務品質向上に不可欠です。これらの要素を組み合わせることで、組織全体のパフォーマンス向上を目指すべきだと強調しました。また、「人事評価制度の見直し」についても職員の成長を支援し、組織全体の成果につながるような改善が必要です。市長自らがリーダーシップを発揮し、職員が積極的に挑戦できる文化を根付かせるための具体的な施策を、スピード感を持って進めていただきたいと提言しました。

市民の皆さんの期待が寄せられる新たな市政において、皆さんの声を反映し、印西市がさらなる発展を遂げられるよう、引き続き市政の監視と提言に努めてまいります。皆さんとともに、住みやすく魅力ある街づくりを目指してまいります。